

コープきんき

発行/2013年11月7日・通巻50号
 生活協同組合連合会
 コープきんき事業連合
 〒532-0011
 大阪市淀川区西中島5丁目
 13番9号 新大阪MTビル1号館
 TEL06-6838-4556
 FAX06-6302-9533
 発行責任者/森 宏之
 発行事務局/理事会室
 URL: http://www.kinki.coop/
 e-mail: info@kinki.coop

コープきんき事業連合は、コープしが・京都生協・ならコープ・よどがわ市民生協・おおさかパルコープ・いずみ市民生協・わかやま市民生協の近畿7生協を会員とする生活協同組合連合会です。

コープきんき事業連合 創立10周年

生活協同組合連合会コープきんき事業連合は、2003年7月23日の創立総会、および、同年9月29日の設立登記から今年10周年を迎えました。近畿2府3県の7生協がまとまることによるスケールメリットを活かして、日本生協連全国共同開発商品やNB商品などの共同仕入れ、コープ商品の共同開発、宅配事業の企画共同化、ギフト事業の共同化、商品検査センター開設、インターネット受注共同基盤の構築、店舗事業連帯機能の拡大などを実現してきました。これからも7つの会員生協あわせて190万人を超える組合員の「まとまりの力」を活かして、組合員のふだんの暮らしへのお役立ちと、会員生協の事業経営への貢献を目指します。



2003年7月23日 創立レセプション

コープきんき共同開発商品 共同の力で10周年



単協独自では
 難しい低価格商品が
 開発されて、若い世代にも
 利用しやすくなったね

「コープきんき共同開発商品」は、7つの会員生協の組合員さんの声をもとに、日本生協連とコープきんきと一緒に開発や見直し改善を行っている商品です。2003年9月に第1期第1次開発商品44品目55SKUを発売して以来、コープきんき共同開発商品は今年10周年を迎えました。今後も、組合員さんの「ふだんの暮らしに役立つ」商品の開発と見直し改善をすすめていきます。9月には、共同開発10周年記念として、特集ページで商品のプロモーションを行いました。



第1期開発商品(2003~2005年度)



9月3回新登場

レンジで簡単ひじきの煮物



10月2回新登場

黒糖入りほうじ茶ラテ



9月4回新登場

お手軽八宝菜セット

CONTENTS

● コープきんき事業連合創立10周年 P1	● 第2回組合員理事懇談会 P6
● コープきんき食品添加物自主基準改定 P2~3	● 品質保証の取り組み P6
● 第28回商品開発組合員懇談会 P4	● 商品検査センターの報告 P6
● 暮らしのパートナー組合員懇談会・工場見学会 P5	● 第2四半期事業報告 P7
● 組合員さんの声に応じて P5	● コープきんき共同開発商品の紹介 P8

コープきんき共同開発商品 共同の力で10周年

近畿2府3県の7つの生協が共同して商品開発を始め、今年10周年を迎えました。7つの生協の組合員さんの声をもとに、ふだんの暮らしに役立つ商品を開発していきます。

新商品・見直し商品の紹介

コープきんき 新開発 10月1日からデビュー

サクサクで口当たりが良いスナック菓子を強化する一環として開発しました。



48%配合

発売に先立って商品モニターを実施し、73名の組合員さんが参加されました。「硬さ」「1粒の大きさ」「味」などについて高い評価をいただきました。

フルーツグラノーラチョコレート

130g 通常価格(税込) 258円
 次回企画 11月4回

- ・4種の穀物、4種のドライフルーツ、3種のシード&ナッツ、2種のフルーツピューレをミックスした大人気のシリアル「COOPフルーツグラノーラ」をそのままチョコレートに練りこみました。さまざまな食感と味わいが楽しめます。
- ・栄養バランスばっちりの「COOPフルーツグラノーラ」を約48%配合しています。おやつや軽食にぴったりなチョコレート菓子です。
- ・標準約13粒入り。

コープきんき 新開発 11月2日からデビュー

「チーズたっぷり」をコンセプトに4種のチーズ33.7%配合のピザを開発しました。



4種のたっぷりチーズピザ

220g(1枚) 通常価格(税込) 398円
 次回企画 12月3回

- ・旨みや、香ばしさを引き立たせるために、調理方法は電子レンジではなくオーブトースター仕様になりました。
- ・チーズ4種をたっぷり使い(モッツァレラ、ゴダ、レッドチェダー、パルメザン) コクと味わいのあるおいしさに仕上げました
- ・8インチ(直径約20cm)のナポリ風で、厚みとサクット感のあるクラストを使用しました。クラストは6等分の切り目入り。

リニューアル登場 新登場 11月1日から見直しデビュー

ブレンド内容の見直しを行い、「モカらしい」華やかな香り、フルーティーな味わいを強めました。

モカブレンド中細挽き(粉)

200g 通常価格(税込) 398円

■ 味わいの特徴	
苦味	●●●●●●●●
酸味	●●●●●●●●
コク	●●●●●●●●



- ① エチオピア産モカの配合量を増やし、深煎りのモカを配合することで、よりフルーティで芳醇な香りと甘さを明確に強調しました。
- ② エチオピア、ブラジル、インドネシア、コロンビア、グアテマラ産の豆を配合することで香り高く、やわらかい味わいになるよう全体的にブレンド内容を見直しました。
- ③ 産地指定の原料を使用。
- ④ それぞれのコーヒー豆が最適な焙煎具合となるよう、焙煎後にブレンドしています。



井戸端モニター会を開催して、ブレンド内容の見直しを検討しました。

「コープきんぎ」食品添加物自主基準を改定しました。

日本生協連及び会員生協は「食品添加物問題」について、1960年代の「無着色商品の開発」や食品添加物総量規制運動などを通じて「不必要な食品添加物の使用を極力抑える」取り組みを実践することにより食品衛生法の改正、天然添加物の指定制度の実現などの多くの成果を上げてきました。

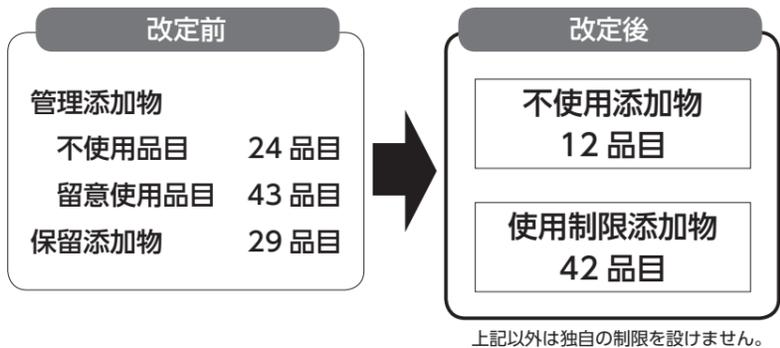
食品安全行政は、2003年の食品安全基本法制定と食品衛生法改正を経て「リスクアナリシスにもとづく食品安全行政」「食品安全委員会の設置」「消費者参画の開始」「情報公開の進展」などの点で大きく前進しました。現在では、国としてのリスクアナリシスの体制が整備され、標準化されたプロセスに沿ってリスク評価が行われるようになっていたため、国でリスク評価が行われ認可された食品添加物については、基本的な安全性が確保されていると考えます。そのことを前提にして、日本生協連はCOP商品における化学物質の管理のあり方を見直し、これまで自主基準として使用制限などを定めていたすべての添加物について、最新の科学的知見に基づき改めてリスクの再評価を行い、2013年2月に日本生協連「食品添加物基準」を改定しました。

コープきんぎ事業連合においても、日本生協連の基準改定をふまえて、食品添加物自主基準

を改定しました。

■食品添加物の管理区分について

日本生協連の改定をふまえて、食品添加物の管理区分を、従前の「管理添加物不使用」「管理添加物留意使用」「保留添加物」の区分から、「不使用添加物」「使用制限添加物」の2区分での管理に変更しました。



■「使用制限添加物」とは

制限する内容を確認して商品に使用する食品添加物を指します。不使用添加物における3つの条件には該当しませんが、懸念される問題点が指摘されており、使用制限をかけることが現実的に可能で、それによりリスクの低減が図られるものです。

懸念される問題点とは、「不純物や代謝物に安全上のリスクがある」、「純度など成分規格に不十分な点がある」、「国が評価していない新しいリスク要因が懸念される」などです。

「制限する内容を確認して使用する」とは、品目ごとの評価に応じて、「使用できる食品の対象範囲の制限」「使用量または残存量の制限」「成

分規格の指定」の三つのうち、一つまたは複数の対応を行うことをいいます。

「使用制限添加物」に関する運用基準

- ①「使用制限添加物」に関しては、使用できる範囲を明確にして管理します。
- ②「安息香酸」「安息香酸ナトリウム」は「清涼飲料水」について食品衛生法の使用基準内であることを検査で確認することとします。
- ③「イマザリル」「オルトフェニルフェノール及びオルトフェニルフェノールナトリウム」「チアベンダゾール」は輸入かんきつに関して、また「イマザリル」「チアベンダゾール」はバナナに関して、食品衛生法の使用基準内である

■「不使用添加物」とは

- ① 遺伝毒性発がん物質と考えられる品目。
- ② 一日摂取許容量(ADI)が信頼できる機関で設定されておらず、日本生協連にてそれを補う科学的データが入手できなかった品目。
- ③ 安全性に関する科学的データが入手できず、成分・規格等に懸念される情報がある品目。

「不使用添加物」(12物質)

主な用途	名称
保存料	デヒドロ酢酸ナトリウム
	パラオキシ安息香酸イソブチル
	パラオキシ安息香酸イソプロピル
	パラオキシ安息香酸ブチル
着色料	食用赤色104号
	食用赤色105号
	骨炭色素
	単糖・アミノ酸複合物
酸化防止剤	ヘゴ・イチョウ抽出物
	臭素酸カリウム(小麦粉処理剤) ^{※3}
製造用剤	グレープフルーツ種子抽出物

「不使用添加物」に関する運用基準^{※1}

「不使用添加物」は、コープきんぎが取り扱うすべての商品において、意図的に使用された商品には取り扱いません。

ことを検査で確認することとします。

④ 健康食品等で食品原料として当該物質が使用される場合は適用しません。

⑤ この基準は食品の基準であり、非食品、医薬部外品については適用しません。



※1 運用基準とは、取扱商品に対する食品添加物自主基準の運用について定めたものです。
 ※2 「意図的に使用された」とは、商品仕様書や原料規格書など把握できる範囲において使用されていることです。
 ※3 臭素酸カリウムについては、加工助剤としても意図的には使用しません。

「使用制限添加物」(42物質)

主な用途	名称
保存料	安息香酸
	安息香酸ナトリウム
	ツヤプリシン(抽出物)
	ペクチン分解物
	ε-ポリリシン
着色料	食用赤色40号及びそのアルミニウムレーキ
	食用赤色106号
	食用黄色4号及びそのアルミニウムレーキ
	食用黄色5号及びそのアルミニウムレーキ
	食用青色2号及びそのアルミニウムレーキ
	二酸化チタン
	アルミニウム
	植物炭末色素
	ラック色素
	ログウッド色素
甘味料	カンゾウ抽出物
	カンゾウ末
	α-グルコシルトランスフェラーゼ処理ステビア
	酵素分解カンゾウ
	ステビア抽出物
	ステビア末
	ブラジルカンゾウ抽出物
	トラムノース
	ウエランガム
	エレミ樹脂
増粘安定剤	カラギナン
	サイリウムシードガム
	ファーセララン
	レバン
	イマザリル
防かび剤	オルトフェニルフェノール及びオルトフェニルフェノールナトリウム
	チアベンダゾール
酸化防止剤	エチレンジアミン四酢酸二ナトリウム
	グアヤク脂
	酵素分解リンゴ抽出物
乳化剤	ブドウ種子抽出物
	ポリソルベート20
	ポリソルベート60
	ポリソルベート65
	ポリソルベート80
製造用剤	過酸化ベンゾイル(小麦粉処理剤)
ガムベース	マスチック

商品開発組合員懇談会



全体会の様子

7月23日(火)、日本生協連・生協会館新大阪にて「第28回商品開発組合員懇談会」を開催しました。会員生協32名、お取引先33社53名、日本生協連等からも合わせて合計121名が参加しました。全体会では、コープきんきマーケティング推進グループより、「きんき共同開発の進捗状況、第1四半期のモニター活動」について報告し、当日の試食商品について説明をしました。

特別報告として、小川珈琲株式会社営業部 栗飯原様より、「レギュラーコーヒーの見直し」について、香りの体験(生豆、アラビカ種とロブスタ種、煎りの深さ比較)を交えて報告をいただきました。参加者から、「コーヒーの奥深さがよくわかった。」や「良いものをつくるという」こだわりが伝わってきました。「よい商品が出来上

がったと感じました。おいしくなっていました。」などの好意的な感想をいただき、購入したいという声もたくさんいただきました。

お取引先と日本生協連のご協力により、コープきんき共同開発新商品20品、改善・見直し商品7品、日本生協連秋の新商品8品、秋の展示試食会対象商品5品の40品目の試食を実施しました。人気投票では、炊き込みご飯にして旨みをアピールした、きんき開発新商品「駿河湾産無着色桜えび」が1位に選ばれました。2位は日生協の秋の新商品「生春巻きセット」で、家庭で手軽に生春巻きを楽しめる点が評価されました。参加者から、「試食も適量でメーカーさんとじっくり話せて、いろんな角度から商品を知ることができた。」や「地域での取り組みに生かせる。」などの感想をいただきました。

分散会では、「時間と手間のお助けアイテム開発」、「豆腐・こんにやくを選ぶポイント」、「買い置きしたくなる冷凍ケーキって」の3つのテーマで、商品を開んで楽しく活発な意見交換が行われました。



分散会の様子



試食の様子

くらしのパートナー 組合員懇談会

9月26日(木)日本生協連・生協会館新大阪にて、2013年度第2回くらしのパートナー組合員懇談会を開催しました。会員生協(コープ北陸含む)組合員25名、お取引先5社9名等、合計52名が参加しました。

今月のモニター商品は、新規開発商品の「業務用トイレのキバミ落とし」「ドアストッパーホルテ」と、既存商品の「スクワビューティースクワニングジェル濃いめ(化粧品)」です。それぞれの商品特徴や使い方をメーカーの方および職員から説明し、質疑応答が行われました。

商品についての分散会は、「インド綿ポロシャツ」「お風呂洗い用具」「衣料用機能洗剤」のテーマで4グループに分かれて意見交換が行われました。企画についての分散会は、「商品案内紙面のマーク表示の変更」、「夏の買い物」、「9〜11月のくらし」、「消費税増税前後のお買い物」について積極的な意見交換が行われました。



モニター商品の説明



分散会の様子

「くらしのパートナー組合員懇談会」では、お取引先を訪問しての商品学習会や工場見学会の取り組みを行っています。

株式会社リバース工場見学会(トイレトペーパー) 7月25日(木)大阪府泉南市にある株式会社リバース本社工場を見学しました。

組合員とその家族(コープ北陸を含む)17名とコープきんき職員他を含めて24名が参加しました。参加された組合員さんから、「リサイクル工場というところで汚いイメージがありました。きれいで清潔な工場に驚きました。」や「これからも品質の良いコアノンロールを製造して地球環境をまもっていただきたいと思えます。」などの感想をいただきました。



株式会社リバース 本社工場見学

株式会社クラブコスメチックス五條工場見学会 9月4日(水)奈良県五條市にある株式会社クラブコスメチックス五條工場を見学しました。組合員(コープ北陸を含む)13名とコープきんき職員他を含めて21名が参加しました。

参加された組合員さんから「コープ化粧品は価格が安いので内容に不安がありました。メーカーの方から説明を聞き、そんなことはないことが分かりました。」などの感想をいただきました。

メイク講習会もあり、参加の組合員さんにはコープ基礎シリーズとコープメイクアップシリーズでお化粧して、スッキリとした顔立ちになってお帰りいただきました。



株式会社クラブコスメチックス五條工場見学会

「組合員さんの声に応じて実現しました」

<改善実施日>10月1回~

「家族のスケジュールカレンダー2014」下部のブロックカレンダーを「前月」「翌月」の掲載に戻しました。

<組合員さんの声> 下部分にあるカレンダーが2012年は前月・翌月だったのに、2013年カレンダーは「当月・翌月」が記載されている。昨年までのように「前月・翌月」のカレンダーの記載を希望します。

コープきんきでは、毎月、寄せられた声に基づき、「組合員の声実現委員会」を開催して実現のための検討を行っています。

改善点 下部のブロックカレンダーを「前月」「翌月」の掲載に戻します。

多くの組合員さんから「元に戻してほしい。」とのご要望をいただきました。出版社と協議・検討を重ね、2014年カレンダーは「前月」「翌月」の掲載に戻すこととしました。



展示・試食での「お気に入り商品ベスト10」

順位	部門	商品名	
1	食品	駿河湾産無着色桜えび	きんき開発商品
2	食品	生春巻きセット	日生協新商品
3	日記	ぶり大根	きんき開発商品
	冷食	お手軽八宝菜セット	きんき開発商品
	冷食	冷凍国産大豆のかつお豆腐	きんき開発商品
	食品	レンジで簡単ひじきの煮物	きんき開発商品
	飲料	黒糖入りほうじ茶ラテ	きんき開発商品
9	菓子	ひとくち市田柿(ドライフルーツ)	きんき開発商品
	水産	かれのい煮付け(大きめ)	きんき開発商品
	日記	ひとくち真いわし生姜煮	きんき開発商品
	日記	ファミリーおでんセット	きんき改善商品
	冷食	冷凍讃岐細うどん	きんき改善商品
菓子	フルーツグラノーラチョコレート	きんき開発商品	



駿河湾産無着色桜えび



生春巻きセット

組合員理事懇談会

10月18日(金)コープきんき事業連合会議室において、13年度第2回組合員理事懇談会を開催しました。会員生協の組合員理事14名と会員生協職員、コープきんき役員あわせて34名が参加しました。門脇専務理事の開会あいさつの後、「第2四半期の業務報告と宅配事業の下期課題の進捗状況、実践事例」、「組合員の声の実現と商品開発・改善の取り組み」、「Webモニターの事例」について報告し、積極的な意見交換と質疑応答が行われました。

第2四半期の業務報告と宅配事業の下期課題の進捗状況、実践事例報告では、子育て、ファミリー層の利用回復について一定の評価をいただきました。一方で、C・O・P商品の見直しや価値訴求の対策、商品の安全の確保についてなど、多くのご意見、ご質問をいただきました。組合員の声の実現と商品開発・改善の取り組み報告では、組合員の声の商品の改善に結びつくプロセスがわかり、声を出すことの大切さがわかったなどの感想をいただきました。Webモニターの事例では、子育て・ファミリー層の宅配利用実態など、モニター調査の分析結果を報告しました。分析結果の活用方法や商品案内紙面への反映、調査期間などについてご意見、ご質問をいただきました。



品質保証の取り組み 昨年の「かじめし」商品事故を教訓とした 13年度常温寿司取り扱いのすすめ方

2012年10月に供給した「かじめし」で、組合員の健康被害を含む重大な商品事故が発生させてしまいました。組合員の皆様、および各会員生協の皆様には大変なご迷惑をおかけしたことを心からお詫び申し上げます。

この商品事故を踏まえ、同様の事故を起こさないために次の対策を実施した上で今年度の供給を開始します。

- 「かじめし」事故の教訓
- 「かじめし」の初期失敗の原因は、所轄保健所との調査の結果、以下の通りとなっています。
- (1) 原料「カニ身」に対するメーカーでの殺菌不足があったこと。
 - (2) メーカーの工程中での二次汚染があったこと。
 - (3) 供給した時期の温度を考えると、供給時期にも問題があった可能性がある。
- 13年度の計画
- (1) 8社20SKUを企画します。
 - (2) 常温寿司の取扱いは、平均外気温が25℃以下となる11月1日から3月1日までの供給とします。(昨年度は10月1日から3月4日まで供給)



製造工場の点検の様子

- (3) 企画再開にあたり工場点検と商品検査を行います。また適正な物流管理を進めます。
- 13年度「常温寿司」の管理方法について
- (1) 既存品の製造メーカーの事前点検を実施します。(9月～10月)
 - (2) 流通品検査とは別に、供給前の段階で先行製造サンプルの検査を実施します。また、検査は11月中実施します。
 - (3) 会員物流までの納品ルート、保管方法について事前把握を行います。
 - (4) 点検において是正が必要な場合は、対策を講じ、健康危害につながる指摘事項の改善ができない場合は、供給しません。

商品検査センターの検査結果報告

コープきんきでは、生協で取り扱う商品に対する組合員の信頼に応えるために商品検査を行っています。

6月～8月の3ヶ月間の商品検査実施状況

検査区分	微生物	食品添加物	残留農薬	自主基準外
新規取扱品検査	1,865	222	0	23
流通取扱品検査	1,999	0	310	40

※残留農薬検査の中には、「主原料が海外原料の加工食品の残留農薬検査」48点が含まれます。
 ※商品検査の判定は、コープきんきの自主基準に基づいて行っています。基準外であっても商品の安全性に問題はございません。
 ※新規取扱品検査において基準外になった商品は企画をとりやめています。流通取扱品検査において基準外になった商品は、原因調査と対策を確認しています。
 ※放射性物質検査について6月～8月で130件の検査を実施しました。放射性ヨウ素、放射性セシウムとも、検出限界を超えるものではありませんでした。(検出限界：一般食品について、NaIシンチレーション検知器で25Bq/kg。牛乳・水について、半導体ゲルマニウム検知器で1Bq/kg)



おっ得だ値

7月4日から9月2日まで農産ページの上段左に固定した特売「おっ得だ値」を配置しました。商品案内の中面への誘導を図ることができ、農産の利用点数を牽引しました。また、子育て、ファミリー層に支持の高い品目を中心に選定し、この層の利用率が前年比で大きく引き上がりました。



スーパープライス

8月2日より9月2日まで夏休みの利用人数対策としてスーパープライスプロモーションを展開し利用が大きく伸びました。なかでも8月2回のフレッシュロースハムは、10人に1人が利用し、半分の方がこの1年間で初めて利用された結果となり、利用人数の引き上げに効果がありました。



第2四半期事業報告(7月～9月)

<宅配商品事業 コープきんき企画分>

	実績	予算	予算比	昨年実績	前年比
供給高(千円)	36,788,717	37,506,029	98.1%	36,013,561	102.2%
荒利益高(千円)	9,894,022	10,140,738	97.6%	9,748,455	101.5%
荒利益率(%)	26.89	27.04	99.4%	27.06	99.4%
世帯利用高(円)	3,561	3,527	101.0%	3,536	100.7%

<その他の事業の供給高>

	実績	予算	予算比	昨年実績	前年比
店舗事業(千円)	2,415,510	2,535,610	95.3%	2,409,664	100.2%
ギフト事業(千円)	802,083	804,445	99.7%	772,394	103.8%
通販事業(千円)	2,263,421	2,324,000	97.4%	0	—

※通販事業は、日生協カタログとスクロールの供給高です。

<第2四半期・宅配商品事業の特徴>

宅配商品事業のコープきんき企画分の供給高は、367億8871万円で予算比98.1%予算差▲7億1731万円の予算未達成となりました。前年比は102.2%の伸長となりました。責任数値である世帯利用高は3561円で予算差+34円、前年比+25円の伸長(100.7%)となり、3ヶ月連続での予算達成となりました。その内訳は、食品が2943円で予算差+24円、非食品が617円で予算差+10円でした。1点単価はわずかに前年を上回り、世帯利用点数を伸ばした構造となりました。粗利益率(GPR)は26.89%、粗利益高は98億9402万円で、予算差▲2億4671万円の未達成でした。

第1四半期は農産部門での相場下落の影響による供給の落ち込みや、子育て・ファミリー層の利用低下などにより世帯利用高が前年を割りました(98.5%)。第2四半期は農産部門の供給対策や子育て・ファミリー層の利用回復対策に取り組み、裏表紙の価格訴求型レイアウトへの変更やコープきんき10周年記念企画(共同開発10周年プロモーション)など、低価格商品の配置を強化したことにより世帯利用高を好転させることができました。

コープきんき創立10周年記念プロモーション

9月は共同開発10周年を記念して、コープきんき共同開発商品の特集企画を組みました。過去最高の利用実績をつくる商品が出るなど好調な結果となりました。



非食品チラシ「くらしのパートナー」でも記念企画を実施しています。



10月1日から12月1日までは10週間連続で毎週10品目を、おトクな感謝価格として企画しています。